

2006 年度

科目名 米文学特殊研究	対象学科・学年 文学部英語3回生	担当者 北川 文雄
授業テーマ アメリカ南部の女流作家 フラナリー・オコナー(Flannery O'Connor) 研究		
授業の概要と目標 フラナリー・オコナーは2つの短編集と2つの長編を遺して1964年、不治の病によって39歳の若さで生涯を終えたが、近年高い文学的評価を獲得するに至っている。日本でもノーベル賞作家大江健三郎が『人生の親戚』やエッセイ集の中でオコナーを取り上げたことは記憶に新しい。オコナー文学の特徴は習俗(manners)を通して生の秘義(mystery)を暗示していることであろう。物質文明が根本的な見直しを迫られている今日、超越的な世界を探求する文学を学ぶことは大きな意義を有すると言える。 オコナーの文学を核にして、アメリカ南部文学、アメリカ文化、西欧文明、現代世界の問題点等について考えてゆきたい。 授業ではオコナーの代表的な短編やエッセイを幾編か読む。同時に作者と作品の背景を知るための基礎的な作業も行う。 尚このクラスは大学院の科目「米文学研究Ⅱ」でもあるので、文学に関心のある学生を希望する。		
評価方法 授業中の発表、夏期・冬期休暇に課すレポートにより総合的に評価する。		
テキスト 原書が手に入れば購入することになるが、不可能な場合はプリントをこちらで準備する。	著者	出版社
参考書 主要な研究書は図書館に収蔵されているので随時紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 Ⅰ. イントロダクション 2～6. “A Circle in the Fire”の読解 7～10. “Good Country People” の読解 11～15. “The Artificial Nigger” の読解 16～19. “The Lame Shall Enter First” の読解 20～24. “A Good Man Is Hard To Find” の読解 25～30. “The Displaced Person” の読解		